

今号の読みどころ

議員団レポート…茨城県／かすみがうら市議会・日立市議会・ひたちなか市議会
千葉県／茂原市議会から報告

P 2～3

P 4

山口県／下松市議会、山口幹事長の主張（秦野市議会）、当選御礼（大平町議会）、
ご支援のお願い（安来市議会）、知っ得メモ
大畠衆議院議員・国政レポート…市民の勝利！「政権交代」実現

大畠衆議院議員
国政レポート

市民の勝利！「政権交代」実現

仲間に支えられた選挙戦

日本の政治史上、歴史に残るであろう第45回総選挙が終わりました。市民の皆さんや日立グループの皆さんをはじめ、働く仲間の皆さんのご支援を頂きながら、全力で、声の続く限り政策とご支援をお願いしてまいりました。終盤には、声もかれ、低音の聞き苦しい声となり、ご心配をおかけしましたが、なんとか最後まで体力も持ちました。これもひとえにご支援を頂きましたすべての皆さんのおかげです。皆様のお力添えにより、早朝から夜遅くまでとことん思い残すことのない選挙戦を展開する事が出来ました。

切実な市民の声うかがい、心新たに選挙へのぞむ

「ふるさとで出産が出来るようにして下さい」、「子ども手当に期待しています」、「後期高齢者医療制度は廃止して下さい」、「郵政事業の抜本的な見直しを」、「若い人に仕事を下さい」など、切実な多くのご意見を頂きました。市民生活は限界に来ています。皆さんの声は、真剣そのものでした。私は、この総選挙に全てを賭け、市民の皆さんのご支援を信じて、最後まで全力を尽くそうと心を新たにしました。

当確の報道に暖かい歓声と拍手

投票日当日の30日（日）は、早めに投票を済ませて、自宅待機。午後8時5分ごろ「大畠章宏氏、当選確実」とNHKテレビで報道され、服部事務局長にご案内を頂き、会場に入りました。会場では、小林後援会会長、連合茨城児島会長をはじめ、働く仲間の皆さんや医師会、郵便局関係者の皆さんに大きな歓声と拍手でお迎え頂き、お

精神的に選挙戦をたたかいた（右）、皆さんののおかげで、V7達成いたしました（下）



祝いの言葉を頂きました。そして、皆さんと一緒に「万歳三唱」を声高らかにさせて頂きました。

「政権交代」は新しい時代の夜明け

しかし、全てはこれからです。今回の総選挙結果は、第一に自民党政治に対する不満、第二に民主党政策に対する期待が合わさったものであり、そのことを民主党はしっかりと踏まえて、これからの4年間の活動に全力を挙げ、約束をした政権政策を実行しなければなりません。皆様のお力添えを頂きながら全力で頑張ります。

日本においても、自民党に代わり国民の選択で「政権交代」の出来る「新党」を創ろうと志を立てて13年。今回、皆様の一票で「政権交代」を成し遂げ、新しい時代の夜明けを迎えることが出来ました。これはまさに市民の勝利です。これから4年間、皆さんとの約束「国民の生活が第一」の政権公約を実現するために全力を尽くします。



中学生の海外派遣事業

国際交流による貴重な体験で より大きな、より幅広い国際人への成長が楽しみ

和田 正美 かすみがうら市議会（日立建機土浦）

21世紀を担うかすみがうら市の中学生（選抜者）を海外に派遣し、その国の文化・風俗・習慣等に触れさせ、国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土や国家、国際社会に対する理解を深めて頂くことを目的に海外派遣事業を実施しています。

オーストラリアへの派遣期間中は、ホームステイや現地校との交流、文化施設・名所旧跡の見学などが実施されます。

参加者は、「小さな親善大使」として現地の人々との交流によって、地域・自然、出会う人たちの心・生活に直接かわり、言葉の違う国でのコミュニケーションの難しさや、海外から見た日本、日本への思いなど実体験し、国際交流、国際理解を深めます。

海外派遣を体験した参加者は、

予想をはるかに超えた素晴らしさを感じ、さらに、積極性や協調性、責任感などが今まで以上に芽生え、それぞれに、「今後の人生への意欲」と「更なるチャレンジ意欲」の活性化が生み出されています。

（残念ながら、2009年度は新型インフルエンザの流行を理由に派遣事業が中止されました。）

私は、学びの基本は、「知る」「感じる」「やってみる」…かな？と考えます。特に、普段の生活環境と違ったところでの学びの体験は子どもたちの将来へ向けて大変有意義な知識となって習得されるものと考えます。

これからも継続的に行政の積極的な誘導・サポートを行っていきます。



国際交流で人として成長して欲しい

市政だより



市政だより



ひたちなか海浜鉄道開業1周年

市民にささえられて、順調スタート

武藤 猛 ひたちなか市議会（日立ハイテク那珂）

昨年、4月1日に第三セクターとしてスタートした、ひたちなか海浜鉄道が1周年を迎えました。



開業1周年記念イベントの様子（上）と8月運行開始したミキ300形

地方公共交通を取り巻く環境は悪化を続けている中、国・県・市の支援により再スタートしましたが、昨年は原油価格高騰に伴う燃料費増、雇用情勢悪化による通勤利用者の減少などのマイナス要因もあり、船出は厳しいものとなりました。しかし、市民と一体となった利用者増対策により、輸送人員（前年比107%）、運輸収入（前年比101%）ともに前年を上回る成績を上げました。

具体的には、市内小・中学生を対象とした「1日ふりーきっぷ」の配布、「自治会向け割引回数券」の販売、6ヵ月通

学定期券購入者への「図書カード」の配布など、地域を対象とした利用者促進策に加え、旅行会社との連携によるバスツアーの誘致などを行ってきました。また、コマースのロケ地に使用されるなど、テレビで見る機会も多くなっています。

日新クラブとしては、鉄道事業が一時的なブームで終わらないよう、よく検証し、さらにはBDF（バイオディーゼル燃料）の採用促進など、今後もチェック的役割を果たしていきます。

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員のそれぞれの取組みを紹介します



東京地協

茨城地協

「日立理科クラブ」を創設 エキスパート集団が 科学の楽しさ伝える

椎名 敦史 日立市議会（HES）

日立市は学校教育目標の一つに「科学する力を養う」を掲げ、国際社会で創造性・独創性を発揮し、活躍できる子どもの育成に努めています。それに関連して、民間企業を含めた地域社会との連携

と相互協力を推進することを目的に、来年創業100周年を迎える日立製作所と協定を締結し、「日立理科クラブ」を創設のうえ、小中学生の理数教育充実・強化に取り組んでいます。



教育プラザ2階に設置された「理科クラブ」事務局

「日立理科クラブ」は、日立製作所OBの方々で組織され、さまざまな製品開発や研究に携わってきた技術士や博士号等を持つ科学のエキスパート集団であり、その方々に科学教育をお手伝いしてもらい、理科室を楽しく機能的な科学の空間にしたり、授業で実験や観察などをしたりして、科学の楽しさを子どもたちに伝えることとしております。事務局は、教育委員会の会議室を改修し、理科実験道具の展示や、各学校等での課題などの意見交換が常時できるようになっています。

今年度は、「理科室のおじさん」として小学校6校に常駐し、実験準備の手伝いや児童の日常の質問に応えるなどして、勤務しています。夏休みには、小学校の先生を対象に理科実験教室を開催しました。

市政だより



地域医療体制の整備

夜間の病院たらい回し解消へ

関 好治 茂原市議会（日立DP）

全国で地域医療の問題が深刻化していますが、この事態を招いた要因として医療費抑制による医師の削減や診療報酬引



医療体制構築に向け対策が進められている公立長生病院

下げ改定などが挙げられます。直接の引き金となったのは、平成16年度から実施された初期臨床研修医制度にあると思われる、この制度により都市部の病院を中心に医師が偏在化することになりました。

茂原市の地域医療体制については、医師・看護師不足が急速に進み、医療の提供が不十分な状況に陥っています。地域の中核病院である「長生郡市町村圏事務組合の公立長生病院」の体制構築が急務として捉え、組合の「救急医療体制検討委員会」の発足・協議や、住民・行政ならびに医療機関が共通の課題認識を持



さまざまな自然体験や、宿泊機能を備える「たかはら自然塾」

廃校舎利活用、「たかはら自然塾」オープン

地元の豊かさ活かし、地域の活性化に取り組む

大庭 弘美 日立市議会（日立電線日高）

平成19年3月廃校となった市立高原小学校の跡地をグリーンツーリズムの拠点施設と位置付け、農業や自然体験ができる「たかはら自然体験交流施設（愛称：たかはら自然塾）」が平成21年8月2日にオープンしました。

地元の豊かな自然環境と農産品などの地域資源、地域の人材を活用した体験事業と地域住民との交流を通じた地域活性化を目的に、体験と宿泊機能を備えた施設としてリニューアルしたものです。

施設は体験・宿泊棟と交流棟、体育館で構成されています。旧校舎を耐震改修

した体験・宿泊棟は、郷土料理や伝統工芸体験室、宿泊室（和洋室定員40名）など体験事業の中心施設に、増築された交流棟は来客者、地域住民の交流の場としてホールや食堂を完備しました。

運営については、オープン後2年間は市の直営、3年目以降は地域による指定管理者の導入を予定しています。

この施設整備は地域と行政が一体となって進めてきた事業であり、地域の活性化と交流人口の拡大に寄与できるよう、私たちも応援していきます。

市政だより



下松市農業公園、完成間近

多くの市民に親しまれる公園になることを期待



武居 宏明 下松市議会（笠戸支部）

現在、食料の6割以上を海外に依存しているわが国は、耕作放棄地の解消や地域の農業生産の担い手を広く育成・確保していくことが重要な課題です。

このような環境の中、下松市においては予てからの市長の公約でもあった「下松市農業公園」がいよいよ今秋、オープンする運びとなりました。

この農業公園は市民に農業体験や食育活動、自然との触れ合いの場を提供する目的で設置されるものです。公園内の主要施設としては、体験

農地としての畑地、水田、花畑、果樹園が整備される他、ビオトープを配した水辺の空間や、炭焼き小屋、カブトムシ・クワガタなどの飼育場もあります。また、公園内においては、関係機関の協力を得て、新たな農業担い手づくりとしての講座開設や、農地に対する相談会などを行い、新規就農希望者や帰農者の支援も行っていく予定です。

食料自給率という大きな問題を抱えている中で、多くの市民や子どもたちに親しまれる農業公園になることを期待しています。



農業公園のレイアウト



様々な目的で設置される農業公園

民主・歴史的勝利で念願の政権交代なる

歴史的な大勝で政権交代実現

先に行われた第45回衆院選で民主党が308議席を獲得、歴史的な勝利でついに念願の政権交代が実現しました。

この選挙では、日立グループ議員団の会長でもある大島章宏議員ならびに電機連合顧問の平野博文議員が高得票で勝利したほか、各選挙区において数多くの推薦候補が当選を果たすことができました。組合員ならびにご家族の皆さまの絶大なご支援とご協力に対して厚く御礼を申し上げる次第です。

「政治に参加する」時代への変革

今回の選挙は、現憲法下では初の本格的な政権選択選挙と呼ばれ、長年続いた

自公政権に終止符を打ち、国民生活に根差した政治の実現を望む人々の強い意志が反映された結果となりました。私たち一人ひとりの投票行動で実現した政権交代は、日本の政治が大きな転換点を迎えたことを意味しており、皆様はまさに歴史の証人になったと言えます。

同時に、これまでのように政治に批判や不満を言うだけの時代から「政治に参加する」時代へと意識の変革も求められています。

新たな時代への対応求められる

いよいよ民主党を中心とした新政権が本格的に始動します。民主党が打ち出した政権戦略やマニフェストの実行には、



日立グループ議員団
幹事長
山口 金光
秦野市議会（神奈川支部）

幹事長の主張!

克服せねばならない難題も数多くありますが、多少時間がかかってもその推移を見守る温かさが必要だと思います。

私たち議員団も、政権交代で今後は新政権を支える立場に変わったことを再認識するとともに、新たな時代に対応した積極的な活動に努めてまいりますので、組合員の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

知っ得 メモ 日常の予防しっかり 新型インフル対策

感染・拡大している新型インフルエンザ。予防についてあらためてご紹介します。

予防方法

- ・手洗い・うがいをしっかりする（手洗いは石鹸で、最低15秒以上行う）
 - ・ウイルスが粘膜を通して感染するため、極力鼻や口などを触らない。咳やくしゃみが出そうになったら、ティッシュやハンカチで鼻や口を覆う
 - ・咳やくしゃみ等症状がある方は必ずマスクをつける
- 皆さん一人ひとり日常の予防をしっかりと心がけ、感染が疑われたらはやめに受診するようにしましょう。



咳エチケット

ハンカチ等で防ぐのが間に合わない場合は腕の中に顔の下半分をうずめるように鼻や口を覆う

厚生労働省 新型インフルエンザ対策関連情報

- <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>
- 新型インフルエンザの対応について、民主党のマニフェストに明記されています→民主党の政権政策 Manifesto2009（3年金・医療23. 新型インフルエンザ等への万全の対応、がん・肝炎対策の拡充）
<http://www.dpj.or.jp/special/manifesto2009/index.html>

当選報告

大平町議会（9月8日）

ご支援ありがとうございました



千葉 正弘

安来市議会選挙（10月25日予定）

ご支援よろしくお願いします。



中村 健二



田淵 秀喜